

新型コロナウイルス感染症拡大防止について

7月下旬以降、新型コロナウイルス感染症の感染者数が急激に増加しており、特に変異株の一つであるデルタ株については、感染力が強く、世界中で猛威をふるっており、今まで以上に注意が必要な状況となっています。

町民の皆様におかれましては、今一度ご自身の行動について見直していただき、感染拡大防止の取り組みについてより一層のご協力をお願いいたします。

【感染拡大防止のために】

※(一社)日本感染症学会、(一社)日本環境感染学会による
メッセージより抜粋(令和3年8月6日発出)

- 不特定多数の人が集まるところでマスクを外さないでください。
- マスクは適切に着けてください。
- 換気の悪い場所の利用を避けてください。
- 感染対策が取られていない場所での飲食を避けてください。
- できるだけワクチン接種を受けることをお勧めします。

【マスクの着用について】

○マスクは不織布マスクの着用を推奨します！

スーパーコンピューターによるシミュレーションでは、不織布マスクがその他の素材のマスク等より感染防御機能が高いとされています。

【不織布マスクとその他のマスクにおける飛沫量の比較データ】

マスクの種類	マスクなし	不織布マスク	布マスク	ウレタンマスク	フェイスシールド	マウスシールド
吸い込み飛沫量	100%	30%	55%~65%	60%~70%	小さな飛沫に対し効果なし	小さな飛沫に対し効果なし
吐き出し飛沫量	100%	20%	18%~34%	50%	80%	90%

(出典：令和2年10月15日 国立大学法人 豊橋科学技術大学プレスリリースより)

○正しいマスクの着用を徹底してください。

上記の不織布マスクを着用しても、装着が不十分だとマスクの効果が低下してしまいます。デルタ株に感染した方が排出するウイルス量は従来株の約1,000倍と報告されており、すべての人が不織布マスクを「適切に」つけることが感染防止には有効と考えられています。

※(一社)日本感染症学会、(一社)日本環境感染学会による
メッセージより抜粋(令和3年8月6日発出)

正しいマスクの着用



1 鼻と口の両方を
確実に覆う



2 ゴムひもを
耳にかける



3 隙間がないよう
鼻まで覆う



厚労省 検索

